

きょうと福祉倶楽部開設20周年記念講演会開催

4月6日に長岡京市中央生涯学習センター（バンビオ）できょうと福祉倶楽部は開設20周年を記念して「なんとめでたいご臨終を迎えるための医療と介護の連携を考えるーその先駆者に聞く」をテーマに小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック院長・日本在宅ホスピス協会会長の小笠原文雄先生と生活とリハビリ研究所の代表の理学療法士、三好春樹さんを招いて開催しました。

会場には100名を超える市民、医療関係者介護関係者にお集まりいただき盛況のうちに閉じました。

三好さんは講演の中でご自身の施設での勤務経験から高齢者の尊厳を語り、高齢者介護のあるべき姿などをお示しいただきました。

小笠原先生は、在宅医療が介護を含めたチームで支えられ、その結果高齢者が望む形で自宅での生活が継続できることの実例を示しながらお話しいただきました。

講演会終了後、きょうと福祉倶楽部には講演会の感想が多数寄せられています。皆さん共通しているのは堰を切ったように延々と感動が語られました。

わたしたちは地域での人権を守る介護をこの講演会を契機として、さらに学びを強め、地域での役割を果たしていきたいと考えています。

今後もぜひ皆様方のご支援をお願いいたします。

なお、当日の講演会はYouTubeにて配信しています。最初の10数分は音声不鮮明ですが以後は最後までお聞きいただけます。



ちょっとへんなばばちゃんのこと ②

私の母（通称 ババちゃん）は、79歳 3年前は要支援 現在要介護2

ちょっと変なばばちゃんとの温泉旅行

2023年の10月金沢へ旅行することになりました。

ばばちゃんと姉、わたしと3人での旅行は30年ぶり？

いや…初めてでした。2022年もっと早い時期に行くはずが、コロナが始まって流行し、春に行く予定が夏になり、「暑いね」…と、のびのびになっていましたが、姉から「就労10年表彰で旅行券もらったから思い切って計画していた旅行に行こう」と連絡があり、やっと計画が実行旅行へ行くことになりました。

京都駅で待ち合わせ、時間通りばばちゃんも現れました。当初はあまり気にしなかったけど、その時のばばちゃんの荷物が、小さな手提げのバッグ1つ。

一泊だけどそれだけ？大丈夫？と思って「ばばちゃん、荷物これだけ？」と聞くと「下着はもってきたし、化粧もしないから」と、しっかりと口調で言うので、まあいっか。と思っていたところへ姉も合流し、案の定ばばちゃんの荷物の少なさに爆笑。

「まあ良いけど、何があれば買えば良いし、離島へ行くわけじゃないしね」などといいながら、旅行が始まりました。

サンダーバードの乗り場に向かう途中でお弁当を購入、わいわい楽しい旅行の始まりです。楽しそうなばばちゃん、来てよかったなと思いましたが、今思い返すと、ばばちゃんの行動は少しおかしかったのかもしれませんが、お弁当も何を選んでよいのかわからなかった？「どれでもいい」と…私たちが右へ行くと右へ、左へ行くと左へ、ついてきているだけだったような気がする…足腰はしっかりしているけど前向いて歩かない、足下を見て歩いている。歩幅も小さかった気がする…

久しぶりに長く一緒にいて、小さな異変を数回感じていました。

…つづく
ヘルパー N

